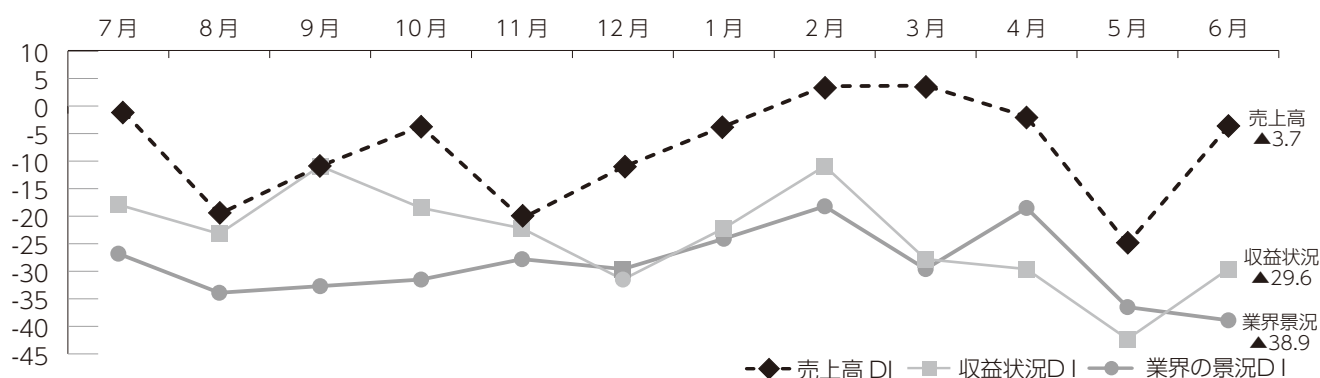


コスト高騰と調達難が常態化

概況

原材料・燃料の高止まりに加え、電気代や包装資材のコスト増が幅広い業種で収益を圧迫している。製造業ではナフサ由来の資材や塗料・オイル類の調達難による混乱が続き、一部で価格転嫁が進むものの、依然として交渉難航や需要減退に苦しむ声が多い。非製造業では、建設業での受注の慎重化が起きている。また、梅雨時の悪天候や物価高に伴う節約志向から小売・商店街では物販が伸び悩むなど、先行きを懸念する声が聞こえた。

主要 DI の推移 (全体)



景況天気図 (前年同月比)

		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
製造業	全業種平均	☁	☁	☁☀	☁	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔	☁☔☔
	食品	☔☔☔	☁	☁	☔☔☔	☔☔☔	☔☔☔	☔☔☔	☔☔☔	☔☔☔
	繊維製品	☔☔☔	☁☔	☁☀	☁	☔☔☔	☁☔	☁☔☔	☁☔	☔☔☔
	窯業・土石	☁	☔☔☔	☀	☁☔	☁☔	☔☔☔	☔☔☔	☀	☁☔
	機械・金属	☁☔	☁	☁☀	☁☔	☁☔	☁	☁☔	☁☔	☔☔☔
	その他	☀	☔☔☔	☀	☀	☁	☁☔	☁☔	☔☔☔	☁☔
非製造業	卸売業	☀	☁☔	☁	☁	☁	☁	—	☁☔	☔☔☔
	小売業	☁	☀	☀	☁	☔☔☔	☔☔☔	—	☔☔☔	☔☔☔
	商店街	☁☔	☁☔	☀	☁	☔☔☔	☁☔	—	☁	☔☔☔
	サービス業	☁☔	—	☁☔	☁	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁☔	—	☀	☁☔	☔☔☔	☁☔	—	☁	☔☔☔
	運輸業	☔☔☔	—	☁	☁☔	☔☔☔	☁☔	—	☁☔	☔☔☔

減少悪化 ← ☔☔☔ ☁☔ ☁ ☁☔ ☀ → 増加好転

天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食料品	【パン】 4月から続いた原材料の値上がりが一段落。原材料高や電気代等のコスト増加の圧力が収益を圧迫。特に、ナフサの供給不安に伴う包装資材の著しい高騰が響いている。 【菓子】 懸念していたほどの暑さにならなかったこともあり、注文は堅調で売上も伸びた。しかし、これから気温が上昇するに伴って、売上が減少するのではないかと懸念。 【製麺】 ナフサ由来の包装資材は価格高騰と充足不足から混乱状態が継続している。
繊維製品	【織物(桐生)】 和装・広幅織物ともに、中東情勢の影響から、石油由来の原材料や関連工程の加工料金の値上がりが経営を圧迫している。また、価格転嫁にも苦慮している。 【インテリア】 価格転嫁が浸透し始めたものの、物価高が継続していることからインテリア関連の需要が減少しており、今後を不安視している。
窯業・土石	【コンクリートブロック】 来春に向けてセメントと骨材（砂類）の値上げが発表となり、対応策について組合員間で協議を進めている。 【碎石】 国土強靱化計画に伴うインフラ整備や防災設備等の需要増加に期待を寄せている。
機械・金属	【めっき】 中東情勢の影響から、引き続き諸資材の調達困難であり、価格の急上昇が続いている。ただ、こうした背景から価格転嫁に理解を示す企業が増加している。 【機械金属(高崎)】 中東情勢の影響から原材料不足や価格高騰の影響が続くが、価格転嫁は比較的円滑に行われている。受注を確保しても材料不足から納期遅延が生じている。 【機械金属(大泉町)】 変電設備向けに関して、新設需要が落ち着きをみせており、既設の更新や改造も例年並みの業務量となっている。ただ、ナフサの目詰まりが解消に至っておらず、塗料や接着剤の入手難がまだしばらく続くと思込んでいる。
その他	【紙製品】 業界では、昨年来の原材料価格の上昇を受けて価格改定が進んでいる。一方、食料品の物価高騰から、段ボールケースの出荷量が前年を割り込んでおり、化粧箱等の消費量にも影響を及ぼしている。 【家具】 受注状況は低調ながら改善の兆しがみられる。しかし、材料の調達コストが高騰し続けており、現状の転嫁状況では懸念があるため、更なる値上げの必要性を感じている。 【ゴム製品】 原材料の価格が高騰している。そのため、価格改定の交渉を継続しているが、一部の妥結にとどまっており、その改定幅も要望の40～60%程度と難航している。

《非製造業》

卸売業	【食品加工卸】 包装資材費や原材料費が著しく高騰している。また、商品を梱包するテープやPPバンド、緩衝材が不足しており、代替品で補っている。 【再生資源】 鉄屑に関して、今後弱含みで推移とみている。非鉄は値動きあるものの、高値で推移。古紙に関して、価格は横ばいで推移だが、発生量は低調で上向く材料は乏しい。
小売業	【中古自動車オークション】 オイル不足は改善されず、対応策もない状態。閑散期で厳しい時期だが、ボーナス時期の需要の増加に期待を寄せている。 【石油】 仕入価格上昇分の価格転嫁を行うことが、困難な状況が続いている。更に、6月後半に雨の日が多かった影響から売上が減少し、経営環境は依然として厳しい。
商店街	【前橋市】 タヤケマルシェが1周年を迎え、多くの出店者・来場者で賑わいをみせた。 【高崎市】 イベントが実施され、特に飲食店で来店者の増加がみられた。しかし、物販では物価高による節約志向が影響しているからか、厳しい状況が続いている。 【藤岡市】 梅雨入りで低温傾向が続いたため、夏物季節商品の動きが例年より悪い状況。
サービス業	【建築設計】 これからの設計業務に必要な不可欠となってくるBIM等の設備投資を行いたいが、人件費等の経費が増えており、事務所運営に苦慮している。 【草津温泉】 インバウンドは、中国人旅行客の減少により微減であるものの、その他の地域からの訪問が増加傾向。売上は単価の上昇もあり、アップしている。 【美容】 気温の上昇から来店者が増えたが、来店サイクルが伸びている状況をカバーするまでには至っていない。価格転嫁をする店舗が増えているが、好転している実感はない。
建設業	【建設】 民間工事において資材高騰や納期遅延への理解不足から、受注に慎重な企業が増加している。コスト高や人手不足を背景に廃業を懸念する声が聞こえる。価格変動が短期に変動することに伴い、従来の契約・発注の仕組みの見直しを求める声が多い。 【電気工事】 材料等の仕入価格の変動が激しいため、長期工期の受注には消極的。 【鉄骨工事】 鉄骨需要が低迷する中、販売業者等による値上げへの対応に苦慮。加えて、中東情勢による塗料・シンナーの供給不足と価格高騰が、新たな経営課題となっている。
運輸業	【一般貨物運送】 燃料の高止まり、エンジンオイル・ギヤオイル・エレメント・ラップ類等の品薄・販売制限が続く、影響が各組合員に出ている。点検時に交換していたオイル類も次回に先延ばしされるケースも聞こえた。

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。